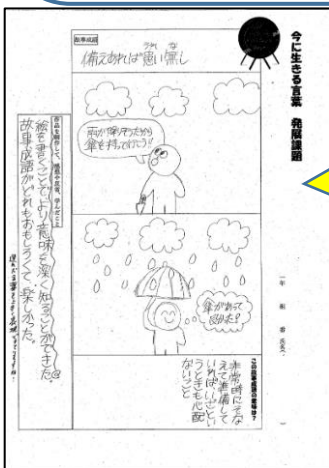


1年 国語「今に生きる言葉」

- ・この単元で、多くの生徒が初めて漢文を読むことになる。漢文の訓読に必要な基礎的な事項(返り点や送り仮名など)や故事成語について学ぶ。
- ・聞いたことのある「矛盾」という言葉を取り上げることで、故事成語は今も生活の中で使われている言葉の1つであることを実感でき、自分たちにとって身近な言葉であるという意識をもたせられる。

活動の流れ

- ①国語便覧に載っている多くの故事成語から、自分の体験に当てはまるものを選ぶ。
- ②故事成語が決まったらその体験を2コマ漫画で表し、故事成語の使い方についてまとめる。
- ③描いた漫画をペアで発表し合い、選んだ故事成語の使い方について確認し合う。



教科書だけでなく国語便覧に載っている故事成語も参考にした。2コマ漫画を描くだけでなくその言葉の意味を書かせ、その故事成語についてよく知れるワークシートにした。



図書館内で掲示

- ・生徒の作品と一緒に、関連する図書と教科書を展示した。
- ・同一の故事成語の作品も並べて掲示し、表現の違いなどを楽しめるようにした。
- ・掲示した作品のほかにも、生活の中にある身近なものや目標などの座右の銘にもなるような言葉を紹介し、関心を持ってもらえるように工夫をした。

(図書館より)

同じ故事成語を選ぶ生徒も多かったようだが、同じ言葉でも表現の仕方が様々だったので、見応えがあった。本と一緒に掲示することで、本に紹介されている例文や、2コマ漫画と見比べたりすることができ、理解が深まりやすいと思った。

授業(活動)の様子や子どもの反応・留意点など

- ・「2コマ漫画」ということで、生徒は集中して取り組んでいた。また漫画にすることでその故事成語が使える場面を想像しやすくなった。
- ・自分が体験したことのあるような故事成語が意外と多かったようで、共感しながら漫画にする故事成語を選んでいった。
- ・机間指導をする中で、選んだ故事成語と描かれている体験が微妙に違う生徒もいたため、そのようなことがないか留意する必要がある。